

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和4年度 9月号

「失礼します！校長先生に聞いてもらいたいことがあります。」

9月7日（水）の放課後、3年生が校長室にきました。

Mさん 「私は、前まで跳び箱が2段しか跳べなかったんだけど、今日4段が跳べたんです。それでうれしくて、聞いてもらいにきました。」

仁平 「すごい！それは嬉しかったね。教えてくれてありがとう。私もうれしいです。ところで、どうして前はできなかった4段が今日は跳べたんだと思いますか？」

Mさん （しばらく考えて）

「えっと、たぶん、おしりを高く上げたことと、手をつく場所を遠くにしたからかな。」

Rさん （一緒にいたRさんが横から）

「もう一つあるよ、大事なもの、ゆがつく……勇氣だよ。」

まさしく「ほっかり」と「ほっかりパワー」がここにありました。そして、子どもたちが、それぞれの2学期を順調にスタートしていることにほっとしました。

また、夏の間雑草が生い茂ってしまったグラウンドを、地域の方がきれいにしてくださいました。おかげで、子どもたちが気持ちよく遊んでいます。ありがとうございました。



今年もやってきました！生まれたての赤ちゃんカメたち

9月14日（水）はアカウミガメ受け入れ式を行いました。

参加したのは飼育担当の5年生と引き継がれる4年生。6年生が、カメ小屋で5年生と赤ちゃんカメをお迎えし、1～3年生はカメ小屋へ出向いて赤ちゃんカメと対面します。

5年生の子どもたちは、これから「冬のカメ当番」を初めて経験します。

冷たい水仕事など、代々の5年生が体験してきたことを通し、誠実さ・やりぬく心・感謝・友情と信頼・働くこと・郷土愛・生命の尊さ・自然愛護・感動など多くのものが育まれることでしょう。

道徳の教科書にも掲載されている、御前崎小伝統のアカ

ウミガメ飼育活動は、快く海水汲みをさせてくださる漁協さまをはじめ、地域のみなさま、カギと見守りを担ってくださる5年生保護者のみなさま、カメ博士、ホワイトハウスさんなど多くの方の支えで成り立っています。水汲み、水質管理、エサの準備など職員もがんばっています。

しかしながら、児童数の減少とそれに伴う職員数の減少は続いています。状況の変化の中で、どうやってこの活動を持続できるのか、議論を始める時期がきていると私は考えています。

ともあれ、御前崎小ならではのアカウミガメ飼育が、今年も再スタートしました。

応援よろしくをお願いします。



（跳び箱は跳べないけど、赤ちゃんカメのかわいさに癒される校長 仁平美和子）

